

# カルホス® 乳 剤

KARPHOS

登録番号 第12455号

種類名 イソキサチオン乳剤  
isoxathion

殺虫剤分類 1B

性状 黄赤色澄明可乳化油状液体

有効年限 5年

有効成分 イソキサチオン 50.0%

毒性 医薬用外劇物

危険物 第四類第2石油類 危険等級III キシレン 火気厳禁

包装 500mℓ×20本

## ■特 長

1. 広い殺虫スペクトラムを有し、活性持続効果が優れています。
2. 接触毒と食毒の両作用により、幅広い害虫に有効です。

最新の登録内容、  
SDSはこちら

## ■適用害虫名及び使用方法

(2021年7月7日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	イソキサチオン を含む農薬の 総使用回数	使用方法
とうもろこし (子実)	アワノメイガ	1,000	100~300 ℓ/10a		2回以内	2回以内	
みかん	ゴマダラカミキリ成虫	1,500	200~700 ℓ/10a	収穫30日 前まで	4回以内	4回以内	散 布
	カイガラムシ類 ミカンハモグリガ コカクモンハマキ クワゴマダラヒトリ若齢幼虫 ミカンサビダニ	1,000~ 1,500					
	コナカイガラムシ類 ミノガ類 ケシキスイ類	1,000					
	カネタタキ	5,000					
いちご (仮植床)	コガネムシ類幼虫	1,000~ 1,500	3ℓ/m <sup>2</sup>	植付後			灌 注
キャベツ	アオムシ、コナガ	1,500~ 2,000	100~300 ℓ/10a	収穫21日 前まで			散 布
たまねぎ	タマネギバエ	500~ 1,000	育苗箱 (約30×60 ×2.5cm、 使用土壌 約2ℓ) 1箱当り 500mℓ	定植前	1 回	1 回	土壌灌注
さとうきび	アオドウガネ幼虫	1,000	1.8ℓ/m <sup>2</sup>	夏季生育 期まで	3回以内	5回以内 (種苗浸漬は1回 以内、植付時の土壌 混和は1回以内 植付後は3回以内)	12時間 種苗浸漬
	ハリガネムシ類		—	植付前	1 回		

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数	使用方法
茶	コカクモンハマキ チャノホソガ ヨモギエダシャク チャノホコリダニ	1,500	200～400 ℓ/10a	摘採21日 前まで	1 回	1 回	散 布
	クワシロカイガラムシ		1,000ℓ/10a				
たばこ	ジャガイモガ	1,000	100～180 ℓ/10a	収穫10日 前まで	2回以内	2回以内	
	タバコガ ヤサイゾウムシ	1,000～ 1,500					
	ヨトウムシ	1,500～ 2,000					
樹木類 (まさき、もっこく、 さくらを除く)	カイガラムシ類 ケムシ類	1,000	200～700 ℓ/10a	発生初期	6回以内	6回以内	
まさき	カイガラムシ類 ケムシ類 ユウマダラエダシャク						
もっこく	カイガラムシ類 ケムシ類 モッコクハマキ						
さくら	カイガラムシ類 ケムシ類			成虫 発生初期			
	クビアカツヤカミキリ						
花き類・ 観葉植物 (さく、ガーベラ、 シクラメン、 アジアンタムを 除く)	オンシツコナジラミ若齢幼虫	1,000	100～300 ℓ/10a	発生初期	4回以内	4回以内	
きく ガーベラ	マメハモグリバエ オンシツコナジラミ若齢幼虫						
芝	スジキリヨトウ シバツトガ	0.5～2ℓ/m <sup>2</sup>	6回以内	6回以内			
	シバオサゾウムシ ケラ、コガネムシ類 タマナヤガ幼虫	1～2ℓ/m <sup>2</sup>					
	チガヤシロオカイガラムシ	0.5ℓ/m <sup>2</sup>					

△ 効果・薬害などの注意 

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
3. 芝に使用する場合は、土壌面まで濡れるように十分な液量を散布してください。
4. オンシツコナジラミに対しては若齢幼虫には有効ですが、卵、蛹には効果が低いので、若齢幼虫の多い時期をねらって約1週間間隔でくり返し散布してください。
5. いちごのコガネムシ類幼虫に対しては仮植床に植え付けた後、床面全面にジョロ等によって所定量を均一に灌注してください。
6. とうもろこしのアワノメイガに対する散布適期は雄穂の出穂期であり、雄穂の出穂前後の2回散布が効果的です。
7. たまねぎ(育苗箱)に使用する場合、軟弱苗などには薬害を生じるおそれがあるので留意してください。

8. さとうきびのハリガネムシ類防除に種苗浸漬処理で使用する場合、所定時間浸漬後風乾してから植え付けてください。
9. さとうきびのアオドウガネ幼虫に使用する場合、なるべく若齢幼虫の多い時期に合わせてください。
10. クビアカツヤカミキリの防除に使用する場合、成虫に直接かかるように散布してください。
11. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
12. ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - (1) ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - (2) 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - (3) 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
13. シクラメン、アジアンタムには薬害を生じるので、かからないように注意して散布してください。
14. せんりょうの生育期（3月から10月）では薬害をおこすので散布しないでください。
15. 自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。
16. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

#### ▲ 安全使用上の注意

17. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
18. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し眼科医の手当を受けてください。
19. 皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
20. 薬液調製時及び使用の際は、保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
21. 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
22. ハウスで使用する場合は、換気に十分注意し、薬液がハウス内にこもらないようにしてください。使用後は十分に換気し、入室してください。

**治療法：**本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。

**水産動植物への影響：**水産動植物（魚類・甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう処理してください。

**保管：**密栓し、火気をさげ、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

○空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

#### 【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

#### ●カルホス乳剤の上手な使い方

- ① さくらでは7日間隔の2回連続散布では、薬害が発生するおそれがあるので留意してください。